



赤十字奉仕団

兵庫県声の図書赤十字奉仕団がリスナーと交流

11月23日に兵庫県支部7階大会議室で、視覚障害者(リスナー)と奉仕団員等総勢160人を超える出席者のもと、交流会が開催されました。

声の図書奉仕団田辺委員長の挨拶で会がスタートし、リスナー代表者の挨拶、兵庫県支部奉仕課長の祝辞の後、参加者の皆さんで歓談をしながらの美味しい昼食をいただきました。リスナー代表のご挨拶では声の図書製作に対するお礼と「折角の交流会なので、リスナーの皆さんが日頃感じている事を奉仕団の方に伝えてほしい」と話されました。

昼食の後は、恒例のお楽しみ会として、「笑いは心の特效薬」をモットーに、各地で講演や慰問活動をされている爪田家酔笑(つめたやすいしよ)氏に落語をしていただきました。

心が和んだところで、リスナー同士や奉仕団員との歓談の時間に移り、弾んだ声で思い思いに語りあっておられました。

最後に、名残惜しい気持ちを抱きながら恒例となっている「今日の日はさようなら」を全員で合唱しました。



【参加者内訳】

※リスナー	52人		
同行者	43人	来賓	3人
団員	62人	盲導犬	1頭



赤十字病院

姫路赤十字病院で患者様へ美しい音色のプレゼント

～さわやかコンサート～

10月30日、チェロ奏者の諸岡由美子さんとピアノ奏者の岩崎宇紀さんによるコンサートを開催しました。

お二方は毎年10月末に姫路市とたつの市でコンサートを開催されており、昨年からのコンサート後に姫路赤十字病院でボランティア演奏をして下さっています。

諸岡さんはジブリ音楽を手掛けている久石譲の楽曲などを中心に、国際的にも活躍されており、岩崎さんは西播磨を中心に精力的に活動していらっしゃいます。当日はファンの方も詰めかけ、ホールを満たす美しい音楽に聞き入っていました。



講習のご案内

～家族のために、地域のために、そして自分のために～

救急法基礎講習

2/24(土) 13:00～17:30

救急法基礎・救急員養成講習(3日間受講)

2/25(日)、3/3(土)・4(日) 9:30～17:30(初日は13:00～)

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

健康生活支援講習 災害が起こったときにあなたが支援できること(災害時高齢者生活支援) 3/10(土) 13:00～15:00	幼児安全法講習 乳幼児の一次救命処置(PBLS) 3/9(金) 13:00～15:00	幼児安全法講習 災害時の乳幼児支援 3/10(土) 10:00～12:00
--	---	---

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

赤十字 兵庫 検索

イベントのご案内 救急法ミニ講習会

日時:平成30年2月12日(月・振) 10:00～15:00(予定)

場所:イオンモール神戸南(兵庫県神戸市兵庫区中之島2丁目1番1) 費用:無料 お一人(一組)15～20分程度



ひょうごの赤十字



HYOGO*

2018. 1月
January

平成30年新春メッセージ

～未来への扉を開く～

新年あけましておめでとうございます。

兵庫県政150周年、2018年の幕が開きました。1868年、後に近代日本の発展を牽引する神戸港の開港に続いて兵庫県が発足し、150年となります。

今年は、本県の行財政構造改革の目標年でもあります。阪神・淡路大震災や経済不況で危機に陥った財政の立て直しに着手して10年。最後の仕上げの時が来ました。

この大きな節目を新しい兵庫づくりへの転換点にしなければなりません。

これまでの150年は成長の時代でした。これからは成熟の時代です。人口は50年以上、100年近くは減少します。経済も右肩上がりの拡大は見込めません。一人ひとりが夢の実現や豊かな時間の過ごし方を今以上に求める時代になるはずだ。

今後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていく。2018年、そのための新たな挑戦を始めます。

第一に、未来への道筋を描く。兵庫の進むべき方向を県民と共有するため、10年後のめざす姿と、持続可能な県政運営の枠組みを示します。

第二に、少子高齢化への対応。安心して子どもを産み育てられる社会づくり、誰もが生きがいを持って長寿を全うできる社会づくりを進めます。

第三に、次代を担う人づくり。人工知能に置き換えられない創造力や感性を伸ばす教育に力を入れます。大人の学び直しや柔軟な働き方ができる環境も整えます。

第四に、元気な地域づくり。次世代産業の育成、農林水産業の基幹産業化、国内外との交流や芸術文化・スポーツによる賑わいの創出に取り組みます。

第五に、社会基盤の充実。活発な社会経済活動の基礎になる高速道路などの整備を進め、近い将来起こるとされる巨大災害への備えにも万全を期します。

ふるさとを愛する県民の皆様と共に兵庫県政150年を機に新しい地域づくりのスタートを切る。さあ、力を合わせて未来への扉を開きましょう。

兵庫県 150年迎え 新しいふるさとづくり 持続目指さん



日本赤十字社兵庫県支部 支部長(兵庫県知事)

井ノ敏三



災害救護

姫路赤十字病院の救護班が 様々な想定での訓練に参加

10月31日、姫路市の余部駅構内で行われた「JR列車事故対応総合訓練」に参加。この訓練は、豪雨による土砂崩れに列車が乗り上げて脱線したという想定で行われ、JR職員と警察・消防・医療機関が連携の確認などを行いました。

11月7日には「姫路駅周辺・都市型災害対応訓練」に参加。この訓練では、JR姫路駅周辺が大規模地震災害に遭った場合を想定して、警察・消防・医療機関だけでなく周辺事業所も参加しました。

姫路赤十字病院の救護班員はどちらの訓練でも災害時の円滑な救護活動展開に向けた救護所の開設、トリアージ(治療の優先順位をつける)や応急手当、救急搬送などの手順の確認を行いました。

23年前の阪神・淡路大震災をはじめ、今まで関わった様々な災害で得た経験と教訓を踏まえ、実際の災害時に迅速な救護活動ができるよう、今後も災害救護体制の充実と訓練に組んでまいります。



列車事故の傷病者の情報収集をする救護班員



姫路駅周辺で傷病者の治療を行う救護班員



1.17は忘れない

阪神・淡路大震災から23年。兵庫県支部では震災の経験と教訓から「備える」「伝える」「活かす」をテーマに様々な災害や事故を想定した訓練、研修会、救急法講習の普及などに取り組んでいます。

兵庫県では、防災意識を新たにするとともに、薄れゆく阪神・淡路大震災の経験と教訓を忘れずに語り継ぐ日として、1月17日を「ひょうご安全の日」と定めて「ひょうご安全の日のつどい」を開催しています。

兵庫県支部も「ひょうご安全の日のつどい」に毎回参加、協力しています。ぜひご来場ください。

日にち：平成30年1月17日(水)

場所：HAT神戸 なぎさ公園周辺(神戸市中央区脇浜海岸通)

1.17は忘れない ひょうご安全の日公式サイト

<http://19950117hyogo.jp/>



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136

口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



青少年赤十字

平成29年度 兵庫県中学校高等学校 青少年赤十字協議会例会(第2学期)を開催

兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会では、今年は「健康・安全」をテーマに「献血」への理解と知識を深めています。11月12日に開催された第2学期の例会には、生徒(メンバー)やスタッフ等73人が参加しました。第1学期の例会時に作成したポスターや看板を使って、実際にJR三ノ宮駅周辺と三宮センタープラザで献血の呼び掛けを行いました。献血の呼び掛け活動を体験した後は、献血の現状、呼び掛け効果の分析、若年層への献血推進の解決策についてグループワークと発表を行いました。メンバーからは、「次は自分も献血をしたい。」「私たちが呼び掛けをしたことで救われる命があるのだと知った。もっと救える命を救ってあげたい。」といった感想が聞かれました。



血液事業

「命のボランティア講座」を開催

～輸血、献血への理解のために～

この10年間で10～30代の献血協力者数は31%(約88万人)も減少しており、少子高齢化が今後ますます進んでいくと、輸血用血液製剤の安定供給に支障をきたす恐れがあると試算されています。

そこで、兵庫県赤十字血液センターでは、高等学校を中心に若年層を対象とした「献血出前セミナー」を実施しています。11月15日には県立山崎高等学校の3年生224人を対象に「命のボランティア講座」と題してセミナーを開催し、クイズ方式で命の大切さ、血液の必要性など、輸血医療の重要性を理解いただきました。12月13日に同校へ献血バスを配車した時には、参加者70人とたくさんの学生さんが献血へご協力いただきました。



献血出前セミナー 募集中!

学校や会社での研修など、少人数でもお伺いします。

【問い合わせ】078-222-5016 血液センター 献血課 こうとう・ほそかわ

「はたちの献血」キャンペーンが始まります! 1月1日～2月28日

献血者が減少しがちな冬期において安全な血液製剤の安定供給を確保するため、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として広く国民各層に献血に関する理解と協力を求めるとともに、国民一人一人に献血の重要性を普及啓発し、献血運動を全国で盛り上げます。



献血キャラクター
けんけっちゃん

